

### 【 くじ引きについて 】

入札結果で同価となった場合は、くじ引きにより落札者（制限付一般競争入札の場合は落札候補者の審査順位）を決定いたします。くじ引きは入札時に受注者が入力した「くじ申込番号」から生成された「くじ番号」により執り行われます。ただし、システム側で処理されるため、受注者がくじ引きを特に意識する必要はなく、保持・保留通知書にもくじ引きが行われたか否かについての記述はありません。

くじ引きとなった場合の結果については、入札情報サービスで確認できます。

受注者が入力した「くじ番号」から、落札者（落札候補者の審査順位）を決定する計算式（くじロジック）については、以下に説明します。

### くじ引き計算式の詳細

電子入札システムに組み込まれた「電子くじシステム」は、次のような手順で落札者（落札候補者の審査順位）を決定します。

#### 1 同価の入札者が3者の場合の計算

- ① 入札書提出時に任意の3ケタのくじ申込番号を入札参加者に入力してもらいます。
- ② 電子くじシステムが乱数を発生させ、くじ申込番号に足します。
- ③ その番号の下3ケタをくじ番号として各入札参加者に割り当て、入札書送信完了通知書画面に表示します。
- ④ 開札時に、同価の入札が複数あれば、入札書が到達した順に、0, 1, 2と番号を割りあてます。
- ⑤ 次の数式で得られた余りの数字が落札候補者を決定します。

$$\frac{\text{③3桁のくじ番号}=(\text{①くじ申込番号}+\text{②乱数})\text{の下3桁の合計}}{\text{同価格での入札参加者の数} = 3} \quad \text{余り} = 0, 1, 2$$

- ⑥ 入札書の到着順の番号と⑤の数式で求められた「余り」が一致した者が落札者となります。（制限付一般競争入札の場合は提出日時順に落札候補者の審査順位を割り振ります。）

#### 2 上記の試算

S（到着順の番号）入札書到着順に、同価格入札者毎に割り当てます。（開札時）

同価格入札者	入札書到着日時	到着の番号
A	H15.6.26 12:00	0
B	H15.6.26 14:30	1
C	H15.6.27 09:35	2

T（くじ番号から計算された余りの数）

同価格入札者	くじ申込番号 ①	乱数 ②	くじ番号③ = (①+②) () は元の番号	④
A	123	254	377 (377)	(377+049+407) ÷ 3 = 277余り2
B	456	593	049 (1049)	
C	789	618	407 (1407)	

S = 2, T = 2で一致する入札参加者Cが落札者となります。

※ 制限付一般競争入札の場合は入札参加者Cから提出日時順（C→A→B）に落札候補者の審査順位を割り振ります。

- くじ申込番号を申し合わせても乱数により、結果は予測できません。
- また、開札までくじ番号も入札参加者数や入札金額も判りません。
- くじ申込番号は、入札参加者が自由に入力できるので、参加実感が得られるとともに恣意的でない、公平なくじ引きを行えます。